




1. 安全に関するご注意

安全のため必ずお守りください


商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項を設定しています。

施工前によくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。




(用語及び記号の説明)

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」 (上記の「警告」「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みいただき、記載事項をお守りください。)
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)
	「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

警告

-  電動工具や刃物を使用の際は、各工具の取扱い説明書に従い、安全に作業を行ってください。

注意

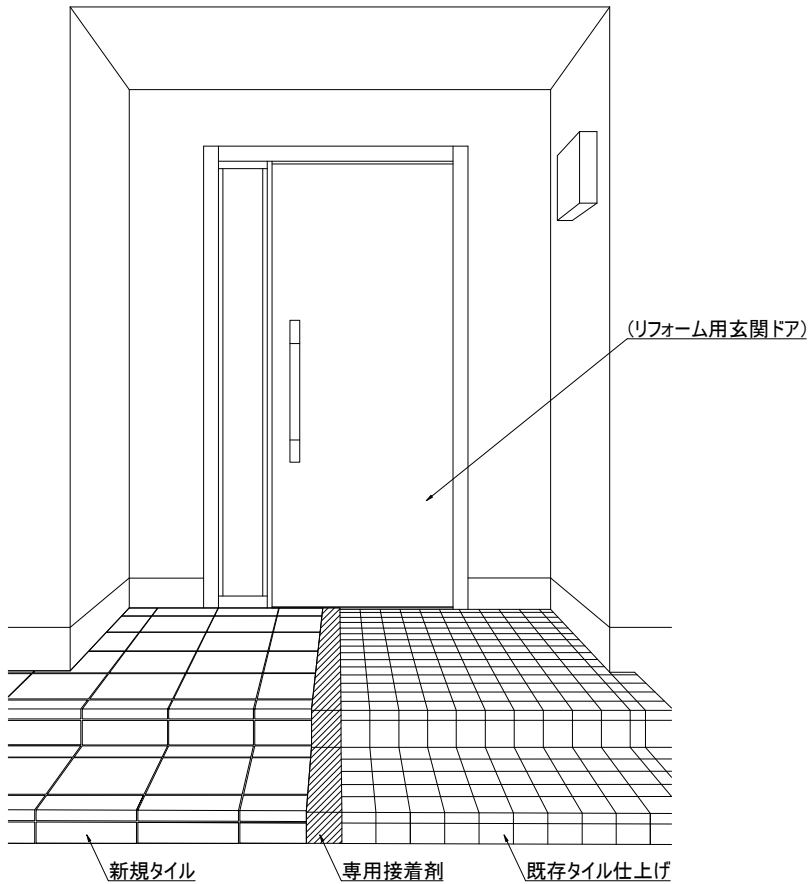
-  接着剤使用時は十分換気をしてください。体質によっては気分が悪くなる場合があります。
-  接着剤使用時は手袋等の保護具を着用してください。体質によってはかぶれる場合があります。
-  見切り材を取り付ける際は、端部や切断面が鋭利になる場合があるので、手袋等の保護具を着用してください。

工事の前にご確認ください！

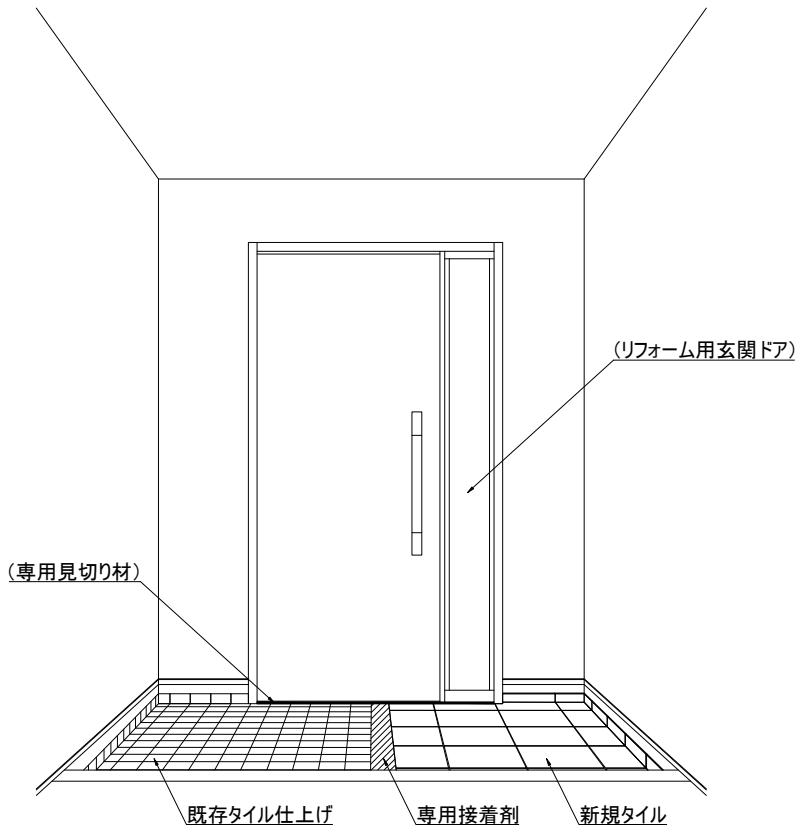
- 本説明書では「タイル工事」に関する事項のみ記載しています。適用可否判断や事前確認が必要な事項に関しては別途定める「事前チェックシート」をご確認ください。
- 『玄関床タイルリフォーム工法』は、健全なタイル張り床下地に対して、専用接着剤を使用してタイルオンタイルでリフォームする工法です。下地に損傷がある場合、または下地の損傷に伴う既存タイル張り面の不具合がある場合は適用できません。
- 『玄関床タイルリフォーム工法』で標準設定している見切り材 (SM-1240/SUS、SM-1905/SUS) は、LIXIL リフォーム用玄関ドア商品「リシェントⅡ」との組み合わせ (標準納まり) を前提とした設計としています。LIXIL リシェントⅡ以外のドア商品や他社商品では所定の納まりにならない場合があります。

2. 工法概要

玄関外側



玄関内側



3. 構成材料・施工工具

3-1. 構成部材一覧表

<主要構成部材> 本工法の品質・意匠・機能を維持するために必要な部材です。必ずご使用ください。

種類	品名	品番	仕様	入数※ ¹	備考
外装床タイル	リシェントⅡの仕様により、適用可能な商品が異なります。 各タイルの詳細はタイル建材カタログをご確認ください。 ●ドア高断熱仕様：タイル厚 13mm 以下品 ●ドア高断熱仕様以外で見切り材を使用しない場合：タイル厚 10mm 以下品 ●ドア高断熱仕様以外で見切り材を使用する場合：タイル厚 13mm 以下品 ●引き戸：タイル厚 10mm 以下品				
接着剤	床リフォーム用 接着剤	R-QF	専用一液型接着剤 変成シリコン樹脂 2kgパック	(9)本/ケース	硬化促進剤同梱※ ²
見切り材	床見切り材 G	SM-1240/SUS SM-1905/SUS	ステンレス	(10)本/ケース	

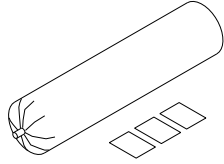
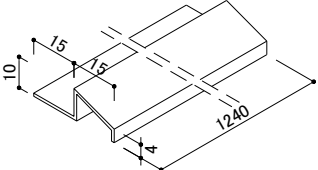
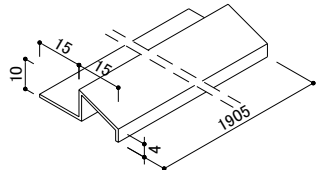
※1：入数について、()内の取引単位はバラです。 ※2：硬化促進剤は、接着剤 1本あたり 3袋同梱されます。

<副構成部材> 本工法の品質・意匠・機能を補完するための推奨部材です。

種類	品名	品番	仕様	入数	備考
外装用目地材	イナメジ BH シリーズ	付マヅ BH2-20KG 付マヅ BH3-20KG	目地モルタル 20kg 紙袋	1袋/ケース	

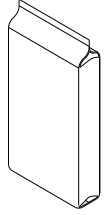
3-2. 構成部材形状図

<主要構成部材> 本工法の品質・意匠・機能を維持するために必要な部材です。必ずご使用ください。

種類	接着剤	見切り材	見切り材
品名	床リフォーム用接着剤	床見切り G	床見切り G
品番	R-QF	SM-1240/SUS	SM-1905/SUS
形状	 容量：2kg 標準使用量：2kg/m ² (5mm クシ目塗布)	 H=10mm、L=1,240mm	 H=10mm、L=1,905mm
用途	タイル張り用接着剤	ドアくつずり部の段差緩和材 (間口 1240mm 以下用)	ドアくつずり部の段差緩和材 (間口 1905mm 以下用)
仕様	変成シリコン樹脂 (硬化促進剤同梱※ ²)	ステンレス (SUS304)	ステンレス (SUS304)
入数※ ¹	(9)本/ケース	(10)本/ケース	(10)本/ケース

※1：入数について、()内の取引単位はバラです。 ※2：硬化促進剤は、接着剤 1本あたり 3袋同梱されます。

<副構成部材> 本工法の品質・意匠・機能を補完するための推奨部材です。

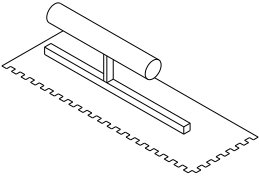
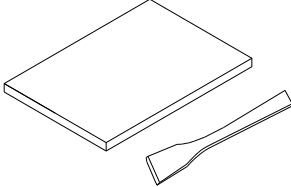
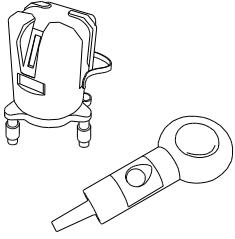
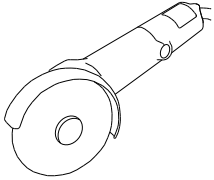
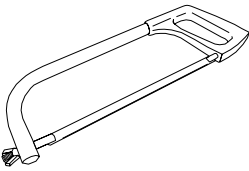
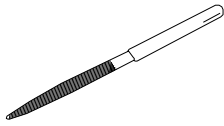
種類	外装用目地材
品名	イナメジ BH シリーズ
品番	付マヅ BH2-20KG、付マヅ BH3-20KG
形状	 容量：20kg
用途	目地モルタル
仕様	既調合セメント目地モルタル
入数	1袋/ケース

3-3. 施工工具

○タイル張りに際しては、一般的なタイル施工工具を準備してください。

○見切り材を取り付ける場合は、見切り材切断工具を準備してください。

<主な施工工具>

5mm クシ目コテ	練り板・練り棒	墨出し工具	タイル切断工具
	練り板・練り棒 ※接着剤に硬化促進剤を添加・混練する場合に使用します。 	墨つぼ レーザー墨出器 	電動グラインダー (タイル用切断刃取付け) 
見切り材切断工具	金ヤスリ		
・金ノコ 	金ヤスリ 		

※見切り材の材質はステンレスになります。切断には材質、厚さ、用途に合った金ノコを使用してください。

※切断面は必ずヤスリ掛けによる面取り（バリ取り作業）を行ってください。

※金属用の高速カッターを使用した場合、表面が焼けて変色することがありますのでご注意ください。

4. 施工方法

4-1. 工程図

一般的な工程を示します。

※タイル施工範囲や各部納まり、必要な補修等については、事前に打ち合わせの上、決定・対処されていることとします。

工程	掲載ページ	概要
お施主さまとの 打ち合わせ		リシェントⅡの現場調査時に以下を確認します。 ・本工法の適用可否の確認 ・リシェントⅡ製品仕様の確認 ・使用するタイルの確認 ・タイル施工範囲、納まりの確認 ・既存床タイル面の状態確認、必要な補修の実施計画 ・工事希望日の確認 ・必要部材の準備
リシェントⅡ工事		リシェントⅡを設置します。
①タイル施工面(既存床) の確認	P6	本工法の施工に先立ち、タイル施工面(既存床)の状態を確認します。 必要に応じて、この段階で補修を行います。
②リシェントⅡ 設置状態の確認	P6	リシェントⅡの設置状態を確認します。
③養生	P6	必要に応じて既存設備を移動させた後、タイル施工範囲の周囲を養生します。
④タイルの割り付け	P6	事前に打ち合わせした内容に従って、タイルを割り付けます。
⑤見切り材の加工	P7	見切り材を取り付ける場合は、接着剤塗布前に見切り材を切断加工します。 ※接着剤のオープンタイム(張り付け可能時間)が短いため、必ず事前に実施します。
⑥タイルの加工	P7	タイル割り付けに従って、接着剤塗布前にタイルを切断加工します。 ※接着剤のオープンタイム(張り付け可能時間)が短いため、可能な範囲で事前に実施します。
⑦接着剤の塗布	P7-8	施工時の気温に応じて、接着剤と付属の硬化促進剤を混練します。 接着剤を施工面にクシ目塗布します。
⑧見切り材の取り付け	P8	リシェントⅡくつずり部との取り合い部分に見切り材を設置する場合は、タイル張りより前に取り付けます。
⑨タイルの張り付け	P9	接着剤塗布後、タイル割り付けに従って、ただちにタイルを張り付けます。
⑩目地詰め	P10	接着剤が硬化してタイルが動かないことを確認後、目地詰めを行います。
⑪養生・清掃	P10	目地材が硬化するまでタイル表面を養生します。目地材硬化後、養生を撤去し、周囲を清掃します。見切り材表面の保護フィルムを剥がします。
⑫コーキング工事		目地材硬化後、必要な部分にコーキング処理を行います。
お引渡し		工事完了後、検査・確認し、お施主さまに引き渡します。

※この工程図は一般的な工程を示したものであり、工事責任区分を示したものではありません。

※点線内は本工法の範囲外ですので、建物毎の契約責任において予め責任区分を明確にしておいてください。

4-2. 施工手順

<玄関内床部への施工>

①タイル施工面（既存床）の確認

本工法の施工に先立ち、既存床の状態を確認し、必要な措置を行います。

既存床の状態	対処方法
タイル面の不陸	軽微な場合（目安2mm以下）は、接着剤の塗り厚を調整しながら施工してください。なお塗り厚を多くすると接着剤の使用量が増え、硬化時間が長くなります。必要に応じて、事前に当該部分をポリマーモルタルで不陸補修を行ってください。
タイル面の段差（目安2mm超）	当該凸部分をカップサンダー等で削って平滑にしてください。
タイル剥離（容易に撤去できる程度）	当該タイルを撤去し、事前にポリマーモルタルで不陸補修を行ってください。
タイル面の欠け	タイル施工に支障のない軽微な場合は補修不要です。支障がある場合は、当該タイルを撤去し、事前にポリマーモルタルで不陸補修を行ってください。
タイル面のひび割れ（下地の損傷を伴わない軽微なもの）	補修不要です。
タイル面の汚れ	土埃は掃き掃除してください。掃き掃除で除去できない汚れは水洗い等で洗浄を行い、必ずタイル面を乾燥させてください。※水濡れしていると接着剤が塗布できません。油系の汚れはアセトン等の溶剤で除去してください。

②リシェントⅡ設置状態の確認

リシェントⅡの設置状態を確認し、タイル工事ができることを確認します。

③養生

必要に応じて既存設備を移動させた後、タイル施工範囲の周囲を養生します。

④タイルの割り付け

事前に打ち合わせた内容に従って、タイルを割り付けます。**※各部の納まり例はP11をご参考ください。**

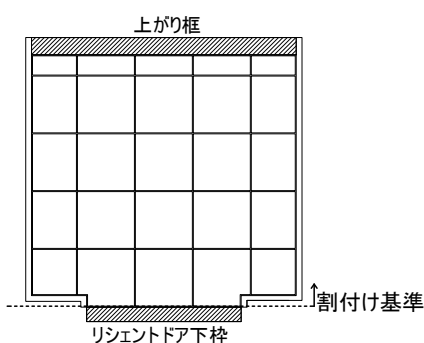
- ・玄関上がり框部、幅木部、ドア縦枠部、くつずり部（ドア下枠部）等の取り合い部分は、突き付けとならないように、適用タイルに応じた目地幅を設けて割り付けます。
- ・くつずり部に見切り材を取り付ける場合は、タイルと見切り材が突き付けとならないよう、5mm程度の目地を設けます（目地詰め工程でセメント目地を充填します）。

■タイル割り付け例

玄関床内部の各寸法とタイル寸法を考慮の上、割り付け基準を設定してください。

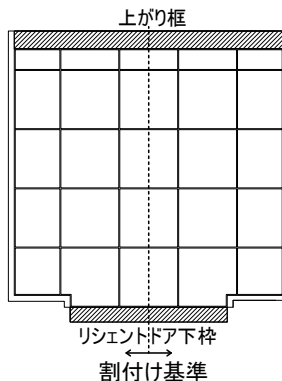
<奥行方向>

パターンA

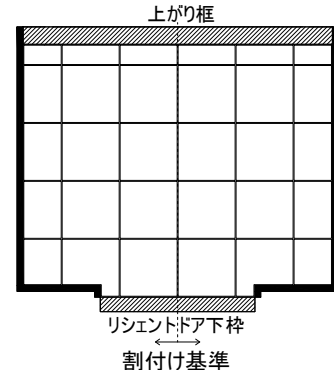


<間口方向>

パターンB



パターンC



⑤見切り材の加工

見切り材を取り付ける場合は、接着剤塗布作業前に見切り材を切断加工します。

- ・切断寸法は以下としてください。

切断寸法 = 見切り材取り付け位置のドア縦枠内側寸法 - クリアランス 2mm

- ・切断工具はステンレス用金ノコを使用し、見切り材表面側から切断してください。
- ・金属用の高速カッターを使用した場合、表面が焼けて変色することがありますのでご注意ください。
- ・切断面は必ずヤスリ掛けによる面取り（バリ取り作業）を行ってください。
- ・切断作業の際には保護具を着用し、安全な場所で行ってください。

⑥タイルの加工

タイル割り付けに従って、可能な範囲で接着剤塗布作業前にタイルを切断加工します。※P9 もご確認ください。

- ・切断作業の際には保護具を着用し、安全な場所で、粉塵の飛散防止に配慮しながら行ってください。

⑦接着剤の塗布

施工時の気温に応じて、接着剤と付属の硬化促進剤を添加・混練します。混練後、接着剤を施工面にクシ目塗布します。

■硬化促進剤の使用方法

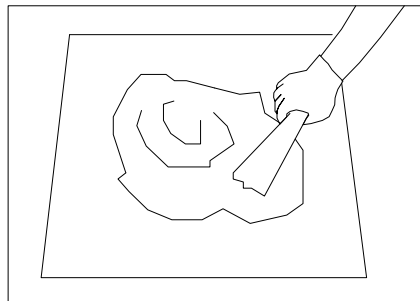
硬化促進剤は、接着剤の硬化時間（目地詰め可能時間）を短くするために使用します。本説明書および接着剤容器に記載の使用方法をよくお読みいただき、正しく使用してください。

施工時の気温	硬化促進剤の使用方法	接着剤のオープンタイム	接着剤の硬化時間
5～9℃(低温時)	2kg アルミパック 1本に対して、硬化促進剤 3袋を添加・混練します。	25 分以内	90 分以上
10～19℃(低～中温時)	2kg アルミパック 1本に対して、硬化促進剤 2袋を添加・混練します。	25 分以内	60 分以上
20～29℃(中～高温時)	2kg アルミパック 1本に対して、硬化促進剤 1袋を添加・混練します。	25 分以内	60 分以上
30～35℃(高温時)	硬化促進剤は使用しません。	15 分以内	60 分以上

※接着剤のオープンタイムおよび硬化時間は目安です。施工環境により変動します。

- ・接着剤と所定量の硬化促進剤を練り板の上に絞り出し、練り棒（ヘラ等）にて混練します。
接着剤の初期の色は淡黄色～黄色になっており、硬化促進剤を添加して色が白色になるまで素早く確実に混練します。
1回あたりの混練量はアルミパック 1本ずつ（2kg＝タイル張り 1㎡程度）とします。（下図）

接着剤混練（アルミパック 1本ずつ混練）



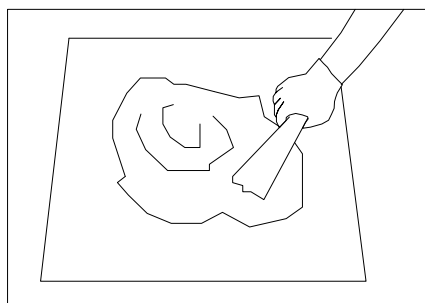
⚠注意

硬化促進剤は必ず使用量を守ってください。接着剤のオープンタイムおよび硬化時間が著しく変動し、タイル張り作業およびタイル張り品質に悪影響を与えます。

- 低温時において、硬化促進剤の使用量を少なくすると接着剤の硬化時間が著しく長くなります。
- 低～中温時および中～高温時において、硬化促進剤の使用量を多くすると接着剤のオープンタイムが著しく短くなります。また、硬化促進剤の使用量を少なくすると、接着剤の硬化時間が著しく長くなります。
- 高温時において、硬化促進剤を使用すると接着剤のオープンタイムが著しく短くなります。

- ・ 接着剤の塗布に先立ち、施工面に埃や水濡れ等のないことを確認します。特に事前に水洗い洗浄している場合は注意してください。水濡れしていると接着剤が塗布できません。
 - ・ 接着剤混練後はただちに施工面に塗布します。5mm クシ目コテにて塗り広げた後、下地面に対して 45～60 度の角度でクシ目を立てていきます。クシ目高さは 3mm 以上を目安とします。（下右図）
 - ・ 接着剤は下地表面になじむように塗布します。特にタイル目地部分や不陸がある部分は注意して行います。
 - ・ 不陸がある部分は接着剤の塗り厚を調整してください。
 - ・ 見切り材を設置する場合も、見切り材を固定するため、その部分に接着剤を塗布してください。
 - ・ 1 回あたりの塗布範囲は、タイルの割り付け位置と、接着剤のオープンタイムを考慮しながら調整します。
- ※高温期は特にオープンタイムが短い（15 分以内）ため注意してください。

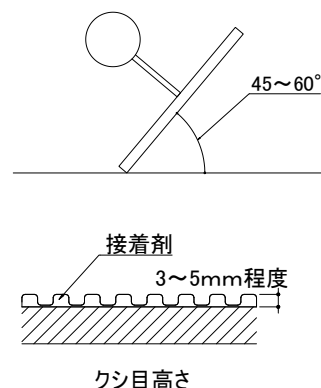
接着剤混練



接着剤塗布



接着剤のクシ目立て



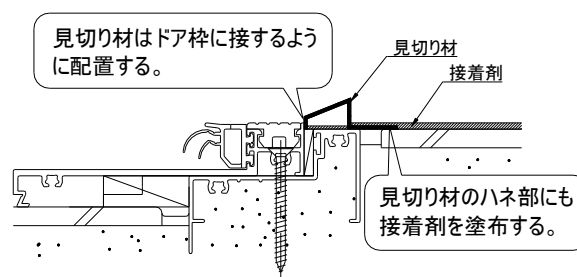
⑧見切り材の取り付け

リシェントⅡくつずり部との取り合い部分に見切り材を設置する場合は、タイル張りより前に取り付けます。

- ・ 所定の寸法に切断加工した見切り材の、表面に張ってある保護用ラップを剥がします。
- ・ 取り付け方向（向き）を間違えないように、リシェントⅡドア下枠に接するように配置します。（下図）
- ・ 取り付け後、見切り材のハネ部分にも接着剤をクシ目塗布しておきます。（下図）

⚠注意

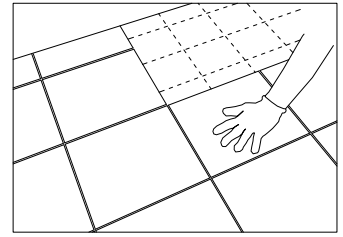
見切り材の施工手順を間違えると、見切り材を設置できなくなります。施工手順を間違えないようにしてください。



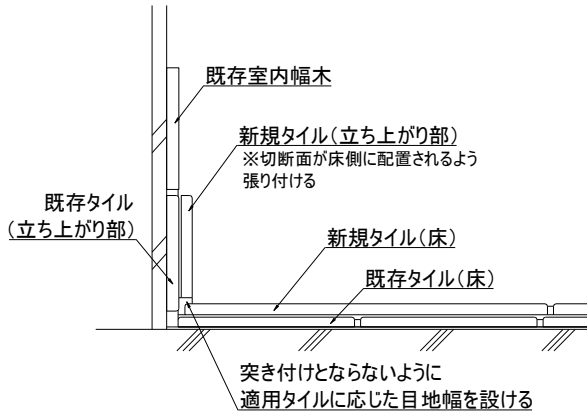
⑨タイルの張り付け

接着剤塗布後、タイル割り付けに従って、ただちにタイルを張り付けます。

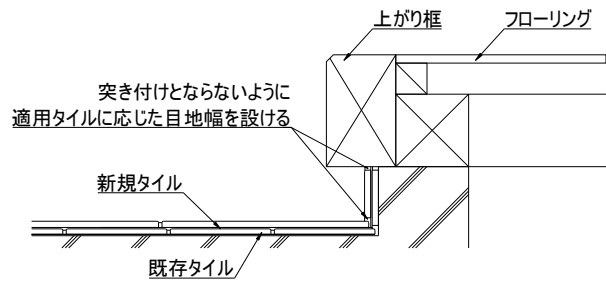
- ・接着剤のオープンタイムを超えないように施工します。
- ・タイル張り後、十分に圧着します。同時にタイルの目地調整も行います。
- ・立ち上がり部（幅木、上り框）に切断加工したタイルを張り付ける場合は、切断面が床側に配置されるようにしてください。（下図A、B）
- ・リシェントIIくつずり部との取り合い部分に切断加工したタイルを張り付ける場合は、切断面を面取り加工してください。（下図C、D）
- ・見切り材との取り合い部分には必ず目地を設けてください。（5mm幅程度、下図C、D）



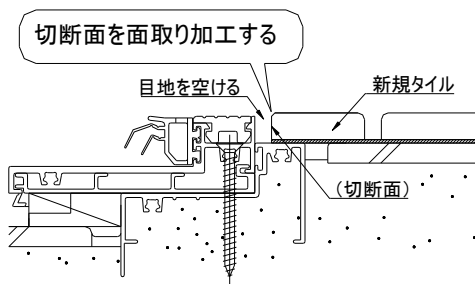
A. 玄関内床幅木部の納まり例



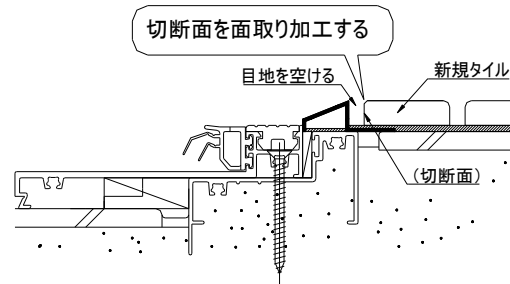
B. 玄関内床上がり框部の納まり例



C. くつずり部 の納まり例（見切り材なし）



D. くつずり部 の納まり例（見切り材あり）



⚠注意

本工法で使用する接着剤はオープンタイムが短いため、接着剤塗布後でのタイル加工に時間を要すると、接着剤が皮張りしてタイル張りできなくなるおそれがあります。
高温期は特にオープンタイムが短い（15分以内）ため注意してください。

⑩目地詰め

接着剤が硬化してタイルが動かないことを確認後、目地詰めを行います。

- ・見切り材表面には、傷付き防止のため養生を行ってください。
- ・くつずり部は、リシエントⅡドア下枠～(見切り材)～新規タイル表面が「緩やかな傾斜」となるように目地詰めを行ってください。※P11の納まり例をご確認ください。
- ・目地詰め後はスポンジ拭き仕上げをしてください。

■タイルが動かなくなるまでの目安時間

施工時の気温	硬化促進剤の使用量	接着剤の硬化時間
5～9℃(低温時)	2kg アルミパック 1本に対して、硬化促進剤 3袋使用	90分以上
10～19℃(低～中温時)	2kg アルミパック 1本に対して、硬化促進剤 2袋使用	60分以上
20～29℃(中～高温時)	2kg アルミパック 1本に対して、硬化促進剤 1袋使用	60分以上
30～35℃(高温時)	硬化促進剤は未使用	60分以上

※上記時間は目安です。施工環境により変動します。

⚠注意

玄関内床部では、目地詰め後の酸洗いは避けてください。リシエントⅡや見切り材、既存設備に変色等の損傷を与えるおそれがあります。

⑪施工面の養生・清掃

目地材が硬化するまでタイル面を養生します。目地材硬化後、養生を撤去し、周囲を清掃します。

※必要に応じて、施工面に「タイル張り養生中・歩行注意」等の注意喚起の表示を行ってください。

⑫コーキング工事(別途工事)

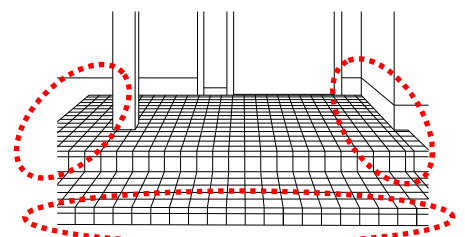
目地材硬化後、必要な部分にコーキング処理を行います。

<玄関外床部(ポーチ部)への施工>

基本的な施工手順は、玄関内床部の項で記載した ①→③→④→⑥→⑦→⑨→⑩→⑪ となります。併せて、下記注意点もご確認ください。

■玄関外床部施工における注意点

- ・玄関外床部は、玄関内床部に比べてタイル面の汚れが著しい場合がありますので、必要に応じて事前に清掃してください。
- ・屋外工事のため、天候(日射、降雨、降雪等)には十分注意してください。特に日射が当たる部分では施工面が高温になり、接着剤のオープンタイムが目安時間より短くなる場合があります。また降雨や降雪で施工面が濡れている場合は、施工できません。
- ・階段部やポーチ柱周囲等ではタイル施工に時間を要することが想定されますので、1回あたりの接着剤塗布面積には十分注意してください。(右上図)
- ・階段部で既存床タイルに凸部(ノンスリップ面)がある場合は、新規タイル張り時の不陸になるため、カップサンダー等にて事前に凸部を削り取ってなるべく平滑面にしてください。(右下図)
- ・本工法で使用する接着剤は床用のため、一般的な壁用接着剤に比べて軟らかめに設定しています。階段部の側面等でタイルを複数枚(複数段)壁面施工する場合は、タイルズレに注意しながら施工してください。

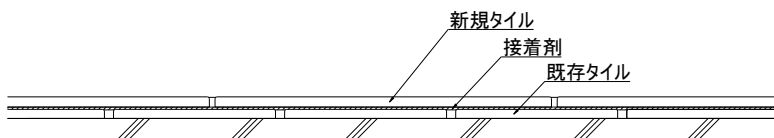


4-3. 各部の納まり

標準的な納まり図を記載します。

※現場毎によって躯体形状は異なりますので、事前に打ち合わせの上、納まり方法を決定してください。

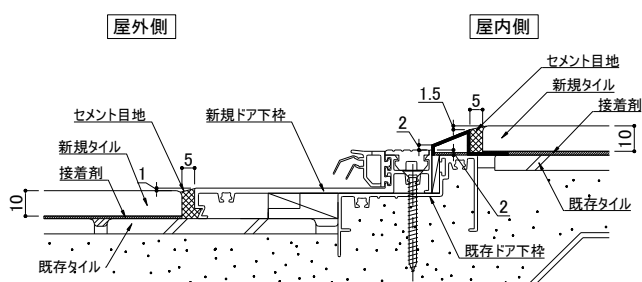
①平面部【玄関内床・外床共通】



②ドアくつずり部【玄関内床・外床共通】

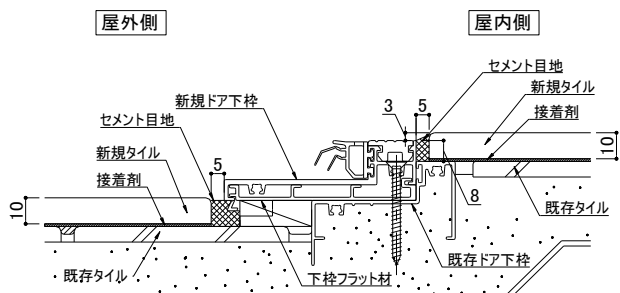
■高断熱仕様

下枠フラット材なし 見切り材あり (タイル厚:10 mm)



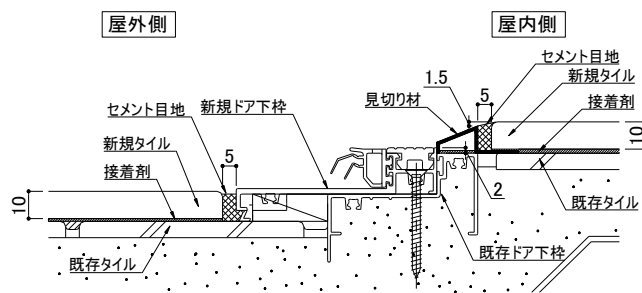
■高断熱仕様以外

下枠フラット材あり 見切り材なし (タイル厚:10 mm)

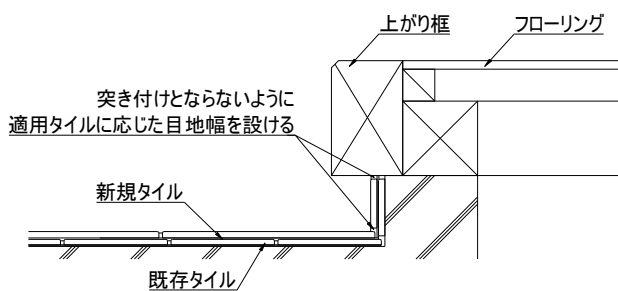


■高断熱仕様以外

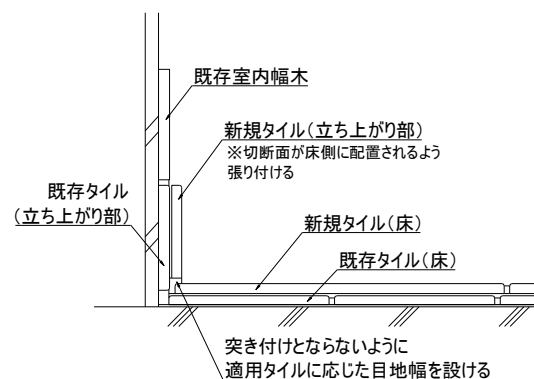
下枠フラット材なし 見切り材あり (タイル厚:10 mm)



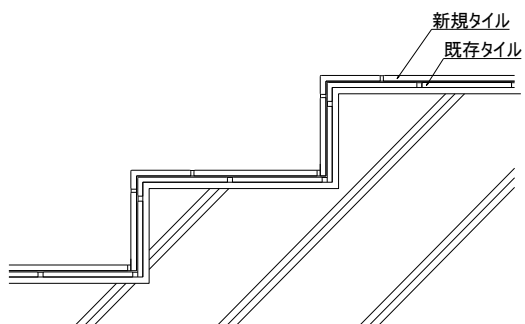
③立ち上がり部 (上がり框) 【玄関内床】



④立ち上がり部 (幅木) 【玄関内床】



⑤階段部【玄関外床】



5. 補修方法

補修部位に応じて、以下の方法にて補修を行ってください。

補修部位	補修方法
タイル	①補修するタイルの表面および周囲の目地に電動グラインダーにて切り込みを入れます。 ②タガネ等でタイル・目地材をはつて撤去します。下地面に残った接着剤もカワスキ等で除去します。 ③清掃後、下地面またはタイル裏面に専用接着剤をクシ目塗布し、タイルを張り付けます。 ④接着剤が硬化してタイルが動かないことを確認後、目地詰めを行います。
目地	①補修する目地に電動グラインダーで切り込みを入れる等して目地材を撤去します。 ②清掃後、目地詰めを行います。
見切り材	①見切り材周囲のタイルを上記方法に従って撤去します。 ②見切り材を撤去し、下地面に残った接着剤もカワスキ等で除去します。 ③所定の長さに切断加工した見切り材を取り付けます。 ④上記方法に従ってタイル張り、目地詰めを行います。

■補修作業における注意点

- ・補修に際しては周囲を養生してください。
- ・切断およびはつり作業の際には保護具を着用し、粉塵および破片の飛散防止に配慮しながら行ってください。
- ・目地材はセメント系材料のため、補修部分とそれ以外の部分では濃淡（色ムラ）の生じることがあります。

商品・施工方法についての技術的なお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

TEL:0570-017-175 FAX:0570-017-178

※ナビダイヤルは、PHS、IP 電話等ではご利用にならない場合がございます。